

平成 26 年 4 月 28 日
東京ガス株式会社

2014 年 3 月期 決算説明会
主な Q & A

Q 1 : 今後 2~3 年かけて、特に注力していきたい分野はどの分野か？

A 1 : チャレンジ 2020 ビジョン発表以来 2 年が経過したが、現在の状況も見越してビジョンを策定しており、現時点で大きな環境変化はないと認識している。ビジョンで定めた通り、ガス事業、海外事業、電力事業等に注力していく。ただ、今後大きな変化があればビジョンを微修正していくつもりだ。現時点において、たとえばガス販売量についてはビジョンで掲げた 2020 年に 220 億 m³ の目標に向けて、順調に推移している。

Q 2 : ガスシステム改革に関連して、料金政策をどのように考えているか？新規参入により競争が激化し、大幅な値下げを強いられる可能性はあるか？

A 2 : 当社のガス料金は現状他社より安く、価格競争力があるものと考えている。今後は競争他社の動向を踏まえて料金政策を検討していくが、当社はサービスなど高い付加価値を提供している自負もあることから、現時点においては、将来大幅な値下げを強いられるとは考えていない。

Q 3 : 石炭火力発電への取り組みについて、取り組む考えはあるか？

A 3 : 電力事業を拡大していくうえで、石炭火力への何らかの関与が必要であると認識している。当社には石炭に関するノウハウがないので他社とのアライアンスを検討していきたい。

以上